

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 内 容 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	音楽 (一般)	教育出版株式会社	中 学 音 楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの
	<p>○ 歌唱については、第1学年では斉唱から混声三部合唱までを取り上げ、曲想と形式とのかかわりを理解したり、主旋律を担当するパートを確かめ、他の声部を聴きながら歌うために必要な技能を身に付けたりすることを通して、歌唱表現を創意工夫することができるようになっている。第2・3学年では斉唱から混声四部合唱までを取り上げ、曲想と曲全体の構成とのかかわりを理解したり、他の声部や伴奏と合わせて歌うために必要な技能を身に付けたりすることを通して、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができるようになっている。</p> <p>○ 創作については、第1学年では言葉のリズムやまとまりを理解したり、全体の構成を考えながら音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりすることを通して、創作表現を創意工夫することができるようになっている。第2・3学年では音符のつなげ方によるリズムの違いを理解したり、選んだ言葉や音階の特徴を生かして表現するために必要な技能を身に付けたりすることを通して、まとまりのある創作表現を創意工夫することができるようになっている。</p> <p>○ 鑑賞については、第1学年では我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等を取り上げ、音階や曲の構成等を理解して、複数の音楽の特徴や関連について自分なりに考えることを通して、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようになっている。第2・3学年では我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等を取り上げ、リズムや旋律の反復による曲全体の構成等を理解して、音楽の役割や特徴を踏まえた共通点や相違点について考えることを通して、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようになっている。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、第1学年では活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、音楽のまとまりを生かして合わせて歌ったり、声の音色や出し方などの特徴を聴いたりする活動が取り上げられている。第2・3学年では活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、曲想を感じ取り、形式を生かして歌ったり、音楽の背景を理解して曲全体の構成を聴いたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第1学年では「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉の重ね方を工夫しながらイメージに合った音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。第2・3学年では「CMソングをつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉や音階の特徴を生かして旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p>		

	<p>○ 内容の構成・排列については、第1学年では郷土の様々な民謡の学習の後に、日本とアジアの声による表現の特徴を聴き取ったり、日本と世界の歌唱における声の出し方を比較したりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。第2・3学年歌舞伎を鑑賞する学習の後に、歌舞伎と文楽を比較したり、オペラと歌舞伎の音楽の役割や特徴における共通点や相違点について考えたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、ソーラン節や江差追分、札幌コンサートホールKitara 大ホールのパイプオルガンが取り上げられている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「Let's Sing!」で表現するための技能を提示したり、作者の思いに触れるようにして、音楽を愛好する信条を育んだりするなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「比べてみよう」で学習した教材を比較して表現する活動を掲載するなど、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やレイアウトに配慮したりするとともに、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど1人1台端末を活用した学習活動ができるよう工夫されている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

## 調査研究結果

観 点	種目	発行者	教科書名
	音楽 (一般)	株式会社教育芸術社	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標内容〕、内容の構成・排列	<p>○ 歌唱については、第1学年では斉唱から混声三部合唱までを取り上げ、旋律の特徴や強弱の変化を理解したり、互いの声や伴奏をよく聴いて歌うために必要な技能を身に付けたりすることを通して、歌唱表現を創意工夫することができるようになっている。第2・3学年では斉唱から混声四部合唱までを取り上げ、曲想と歌詞の結びつきを理解したり、全体のまとまりに気を付けて歌うために必要な技能を身に付けたりすることを通して、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができるようになっている。</p> <p>○ 創作については、第1学年では音のつながり方の特徴を理解したり、音素材の特徴を生かしながら構成を工夫して音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりすることを通して、創作表現を創意工夫することができるようになっている。第2・3学年では言葉の抑揚を生かすことを理解したり、音階を使って和音の動きに合わせて音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりすることを通して、まとまりのある創作表現を創意工夫することができるようになっている。</p> <p>○ 鑑賞については、第1学年では我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化等を理解して、各地に伝わる音楽の特徴について自分なりに考えることを通して、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようになっている。第2・3学年では我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、声や楽器の音色、旋律の特徴等を理解して、世界各地の楽器と似た特徴をもつ日本の楽器の音楽などを聴き比べて共通点や相違点について考えることを通して、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようになっている。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、第1学年では活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、曲の構成を感じ取り表現を工夫して歌ったり、曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴いたりする活動が取り上げられている。第2・3学年では活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、曲想の変化を生かして表情豊かに歌ったり、作曲者の思いを感じ取りながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第1学年では「My Melody」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音のつながり方を工夫しながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動する活動が取り上げられている。第2・3学年では「Let's Create!」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、リズムの重なりや音の出し方を工夫してリズムアンサンブルをつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p>		

	<p>○ 内容の構成・排列については、第1学年では日本の民謡を味わって聴く学習の後に、声や音楽の特徴を生かして民謡を歌ったり、郷土に伝わる民謡を調べたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。第2・3学年では文楽を味わって聴く学習の後に、声や音楽の特徴をいかして義太夫節を語ったり、郷土の祭りや芸能について考えたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、ソーラン節や江差追分、アイヌの芸能や古式舞踊が取り上げられている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「My Voice」で歌唱表現のための技能を提示したり、演奏者からのアドバイスを紹介して学習を深めることができるようにしたりするなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「曲のよさをプレゼンしよう」でみんなに薦めたい曲のよさを音楽と関連付けてプレゼンテーションする活動を掲載するなど、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、白を基調とした紙面で、情報の配置に配慮したりするとともに、QRコードを掲載するなど1人1台端末を活用した学習活動ができるよう工夫されている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>